

架橋義歯補綴学

責任者名：小峰 太(歯科補綴学Ⅲ 准教授)

学期：前期

対象学年：4年

授業形式等：講義

◆担当教員

小峰 太(歯科補綴学Ⅲ 教授)

本田 順一(歯科補綴学Ⅲ 助教)

平場 晴斗(歯科補綴学Ⅲ 助教)

窪地 慶(歯科補綴学Ⅲ 助教)

高田 宏起(歯科補綴学Ⅲ 助教)

◆一般目標 (GIO)

少数歯欠損の診断と、固定性補綴治療による機能回復と維持のために必要な知識と技能を身につける。
架橋義歯補綴学の基礎知識および歯科補綴学用語を理解する。

◆到達目標 (SBOs)

少数歯欠損に対する固定性補綴治療の臨床的意義と方法を理解し、説明できる。

クラウンブリッジによる治療について説明できる。

歯科補綴学の用語を理解し、説明できる。

◆評価方法

定期試験結果 (50%)、対面平常試験① (5月6日、金曜日) および対面平常試験② (7月1日、金曜日) の結果 (40%)、小テストおよび提出物 (10%) とし、総合的に評価する。

平常試験に関する内容は講義時間内にフィードバックを行う。

公欠以外の欠席は減点する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
小峰 太	月曜日 17時から18時 歯科補綴学第Ⅲ講座研究室 講義終了後随時	komine.futoshi@nihon-u.ac.jp 歯科補綴学第Ⅲ講座研究室	
本田 順一	月曜日 17時から18時 歯科補綴学第Ⅲ講座研究室 講義終了後随時	honda.junichi@nihon-u.ac.jp 歯科補綴学第Ⅲ講座研究室	
平場 晴斗	月曜日 17時から18時 歯科補綴学第Ⅲ講座研究室 講義終了後随時	hiraba.haruto@nihon-u.ac.jp 歯科補綴学第Ⅲ講座研究室	

窪地 慶	月曜日 17時から18時 歯科補綴学第Ⅲ講座研究室 講義終了後随時	kubochi.kei@nihon-u.ac.jp 歯科補綴学第Ⅲ講座研究室	
高田 宏起	月曜日 17時から18時 歯科補綴学第Ⅲ講座研究室 講義終了後随時	takata.hiroki@nihon-u.ac.jp 歯科補綴学第Ⅲ講座研究室	

◆授業の方法

指定教科書の内容を基本として制作されたスライド pdf を投影し、講義を行う。

受講者に対し、スライドの内容を記載した資料を配付する。

遠隔講義の受講に際しては、教科書冠橋義歯補綴学テキスト第4版とノート類を手許に準備すること。

学期内に平常試験を行う。平常試験については、受講者の理解の深めるため、講義時間に解説を加える。

【実務経験】小峰 太，本田順一，平場晴斗，窪地 慶，高田宏起：日本大学歯学部附属歯科病院クラウン・ブリッジ科で歯科診療を担当している立場から、本教科で学修する知識や臨床術式が実際の臨床でどのように活かされるかについて説明を加える。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	冠橋義歯補綴学テキスト第4版	石神 元，松村英雄，小峰 太，小泉寛恭他	永末書店	2021
プリント配付				

◆DP・CP

DP3

コンピテンス：倫理的・批判的思考力

コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

DP4

コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

DP5：

コンピテンス：挑戦力

コンピテンシー：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

CP3：幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

CP4：歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

CP5：研究で明らかとなる新たな知見と研究マインドをもとに，歯科医学の課題に挑戦する学生を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

教科書による予習を行い，当日の学修到達目標を理解すること。

授業中は，ノート等に必要事項を記載し，自身の学修に必要なノートを作成すること。

作成したノートをもとに復習を行うこと。

各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

◆準備学習時間

授業時間（50分）相当を予習（50分）および復習（50分）に充てること。

◆全学年を通しての関連教科

歯冠補綴学（3年後期）

歯冠補綴学実習（3年後期）

架橋義歯補綴学実習（4年前期）

固定性義歯補綴学（4年後期）

専門総合特別講義 III（インプラント）（4年後期）

顎機能分析演習（4年後期）

臨床実習（5年前期，後期）

口腔インプラント学（6年前期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.4	8	【遠隔】 ブリッジ概説 (教) pp.93-98	・ブリッジの構成，種類，ブリッジの支台装置について説明できる。	小峰 太	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療
2		4.11	8	【遠隔】 ポンティック (教) pp.98-100	・ポンティックの意義，種類，適応について説明できる。	小峰 太	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療
3		4.18	8	【遠隔】 レジン前装冠概説 1 (教) pp.101-109	・レジン前装冠の支台歯，構造，特徴，適応について説明できる。	小峰 太	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療
4		4.25	8	【遠隔】 レジン前装冠概説 2 (教) pp.101-109	・レジン前装冠の支台歯，構造，特徴，適応について説明できる。	小峰 太	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療
5		5.2	8	【遠隔】 支台装置	・ブリッジの支台装置としてのレジ	小峰 太	E-3-4)-(1) ク

				としてのレジン前装冠1 (教) pp.101-109	ン前装冠について、設計と製作方法を理解し、説明できる。		ラウンブリッジによる治療
6		5.6	5	【対面】 平常試験① 第4実習室と第5実習室において、第1回から5回までの遠隔講義の内容を出題範囲として、筆記試験を実施する。 平常試験①フィードバック *金曜日(5月6日)	・平常試験①を行い、第1～5回目の講義内容の理解度を確認する。 ・平常試験①のフィードバックを行い、第1～5回目の講義内容の理解度を確認できる。	小峰 太 本田 順一 窪地 慶	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療
7		5.9	8	【遠隔】陶材焼付冠概説1 (教) pp.111-122	・陶材焼付冠の構成、特徴、適応について説明できる。	小峰 太	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療
8		5.23	8	【遠隔】陶材焼付冠概説2 (教) pp.111-122	・陶材焼付冠の構成、特徴、適応について説明できる。	小峰 太	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療
9		5.30	8	【遠隔】陶材焼付冠概説3 (教) pp.111-122	・陶材焼付冠の構成、特徴、適応について説明できる。	小峰 太	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療
10		6.6	8	【遠隔】 支台装置としての陶材焼付冠1 (教) pp.111-122	・支台装置としての陶材焼付冠について製作方法を理解し、説明できる。	小峰 太	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療
11		6.13	8	【遠隔】 支台装置としての陶材焼付冠2 (教) pp.111-122	・支台装置としての陶材焼付冠について製作方法を理解し、説明できる。	小峰 太	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療
12		6.20	8	【遠隔】 支台装置としての	・部分被覆冠の種類、適応、支台装置への応用について理解し、説明で	小峰 太 本田 順一	E-3-4)-(1) クラウンブリッ

				部分被覆冠 (教) pp.123-128	きる。		ジによる治療
13		6.27	8	【遠隔】 ブリッジの印象採得 (教) pp.129-133	・固定性補綴のための印象採得について、クラウンとの相違を説明できる。	小峰 太 窪地 慶	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療
14		7.1	5	【対面】 平常試験② 第4実習室と第5実習室において、第1回から13回までの遠隔講義の内容を出題範囲として、筆記試験を実施する。 平常試験②フィードバック ※金曜日(7月1日)	・平常試験②を行い、第1～13回目の講義内容の理解度を確認する。 ・平常試験②のフィードバックを行い、第1～13回目の講義内容の理解度を確認できる。	小峰 太 本田 順一 平場 晴斗 窪地 慶 高田 宏起	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療
15		7.4	8	【遠隔】 ブリッジの顎間関係の記録(咬合採得) (教) pp.133-139	・固定性補綴のための顎間関係の記録について、材料、術式を理解し、説明できる。 ・固定性補綴のための暫間補綴について説明できる。	小峰 太	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療

